

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

書類番号4

1. 大正区将来ビジョン2025(案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
1-1	角元委員	総務課 (庶務)	全体	我々が発言した事で何か変更をしたり、加筆した部分はあるのでしょうか？あるのであれば、前回の会議や事前質問があった内容について「何ページのどこが、こういう文章からこのような文章に変更しました」等の文章があった方が良いと思います。 何も変わっていないのであれば、そもそも我々の存在意義も希薄になると考えます。	前回の区政会議でご議論いただきました「将来ビジョン2025(素案)」に関する事前質問や、区政会議当日の意見交換を踏まえまして、区役所内で検討のうえ、いただいたご意見を反映しております。 変更や加筆した点につきましては、該当ページを資料送付時の鑑文に記載をいたしております。 また、会議当日にも修正内容についてご説明させていただきます。
1-2	姉川委員	保健福祉課 (健康づくり)	17ページ 健康寿命の延伸	健診受診率の目標を追加していただきありがとうございます。	

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

書類番号4

1. 大正区将来ビジョン2025(案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
1-3	姉川委員	地域協働課 (防災防犯)	24ページ 地域安全防犯対策	重点犯罪とはどのような犯罪を指すのでしょうか？ その重点犯罪について、大正区が少ないということ はとても素晴らしいことだと思いますが、その要因はどこ にあるとお考えでしょうか？	<p>重点犯罪とは、府民が著しく不安を感じる犯罪として大阪府警が指定する、「強制的性交等、強制わいせつ、公然わいせつ、痴漢、自動車盗、車上ねらい、部品ねらい及び特殊詐欺」のことを指します。</p> <p>将来ビジョンに記載の重点犯罪件数について正しくは重点犯罪を含んだ犯罪発生件数でした。重点犯罪のみの発生件数については公表されていないため、表記を犯罪発生件数に修正いたします。</p> <p>大正区における犯罪発生件数が少ない要因については、様々な要因が関連すると思われませんが、一般的に大都市部であるほどより多く発生し、また、地域コミュニティ意識が希薄化すると犯罪増加に繋がると言われております。</p> <p>大正区については、もともと府内でも落ち着いた地域と言われており、転出・転入者も少ないことから長くこの地域に住んでいる方が多くおられます。また、地域振興会(いわゆる町会)への加入率も大阪市平均48.5%に対して大正区は58.8%と高いことから、地域コミュニティの繋がりの強い区といえます。</p> <p>加えて地域では日ごろから区内全10校下の地域コミュニティによる地域活動として、「こどもの見守り活動」や「青色防犯パトロール」、「防犯カメラ」の設置などに取り組んでいただいていることにより、犯罪を抑制しまちの安全が守られているものと考えております。</p> <p>さらに、区役所においても職員による安全パトロールを実施しているほか、建設局と連携した放置自転車対策により、犯罪の起こりにくい環境整備等に取り組んでいるところです。</p> <p>今後も地域の皆様とともに区役所・警察・消防などの関係機関が一体となって、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

書類番号4

1. 大正区将来ビジョン2025(案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
1-4	姉川委員	地域協働課 (地域協働)	37ページ 地域まちづくり実行委員会の活性化	地域まちづくり実行委員会は、各地域の連合町会とは違うものでしょうか？イコールでなければどう違うのか教えてください。	<p>地域まちづくり実行委員会(地域活動協議会)は町会、地域社協、女性会、民生委員、PTAなどの地域の様々な団体で構成され小学校区を単位に10の地域が防災、防犯、こども、青少年、福祉、文化などのテーマに基づいて地域づくりに取り組んでおられます。</p> <p>また、広く住民全般を対象として市民活動を行うことを目的として上記の活動について大阪市から補助金を交付しています。</p> <p>連合町会は小学校区単位の町会から構成されており、連合町会の集合体が大正区地域振興会です。連合町会は地域まちづくり実行委員会(地域活動協議会)の中心的な構成団体の一つで、季節のお祭りや防災訓練、高齢者・こどもの見守りなどの活動を行い地域のコミュニティづくりを通じて地域で安全で安心して暮らせるよう活動をされています。</p>
1-5	石田委員	総務課 (庶務)	42ページ 情報発信・伝達力の強化	SNSでの情報発信でリーチできていない現状では、ここに時間を割くことを思い切って止めるのも手かと思う。SNS運用を有事の時だけに限定したらどうでしょうか。	<p>SNSでの情報発信については、タイムリーに情報を発信出来るという広報媒体として最大のメリットがあるため、まずはいかに利用者を増やしていくかについて取り組んでまいりたいと思っております。具体的にはLINEで受け取りたい情報を選択できる機能やインスタグラムの導入を考えているところです。</p> <p>また、SNS利用者が増加することによって、有事の際にも重要なツールとしてご活用いただけるものと考えております。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

書類番号4

2. 令和5年度大正区運営方針(案)及び予算(案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
2-1	石田委員	地域協働課 (防災防犯)	2ページ 地域で支え合う 安全なまち「大 正」	個別避難計画こそDX(※)化を進めるべく予算を拡 充した方が良いと思うのですが。 ※デジタル技術やデータを活用し、大胆に業務を見直 すことによって、行政サービスの向上と業務効率化を 図ること。	個別避難計画にかかるシステム導入等につきましては、大 阪市の関係部局及び24区全体で課題と認識し議論したとこ ろ、現段階では、高額なシステムを導入する以前に、地域へ の災害時支援の意義や個別避難計画の必要性の理解促進を 行う必要があるとして、システム導入は各区の状況を把握しな がら再検討される予定です。 当区としましては、各地域の「日頃の見守り」と「いざという時 の見守り」がスムーズに連携できるよう、まずは持続可能な体 制構築及び個別避難計画の策定の支援に引き続き取り組ん でまいります。
2-2	角元委員	地域協働課 (防災防犯) 地域協働課 (地域協働)	2ページ 地域で支え合う 安全なまち「大 正」 3ページ にぎわいと魅力 あふれるまち「大 正」	経営課題2、4について、令和5年度予算額が下がっ ている内訳を教えてください。	<経営課題2 地域で支え合う安全なまち「大正」> 地域防災リーダーの改選(2年毎)に伴う装備品購入予算の 減によるものです。 <経営課題4 にぎわいと魅力あふれるまち「大正」> 令和4年度は業務の初期に必要な企画や広報等のデザイ ン、ホームページの作成、看板や掲示物の作成費用、テント代 を含んでおりましたが、令和5年度はランニングコストのみの 予算計上としたためです。

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

書類番号4

3. 令和5年度大正区事業・業務計画書(案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
3-1	角元委員	総務課 (庶務)	2ページ	ものづくり事業の説明がないのはなぜでしょうか。	<p>事業・業務計画書につきましては、従来、全事業・業務に関する計画書を委員の皆様にお送りしておりましたが、膨大な量となるため、委員のご提案により昨年度から各担当において、新規事業や重点事業を中心に選定した3事業の抜粋版としてご報告するよう改善しております。</p> <p>地域協働グループにおいては、来年度に業務内容を再構築する事業が重なったため、ものづくり事業については抜粋版に掲載されておりません。令和5年度の全ての事業・業務計画書につきましては、後日ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。</p>
3-2	石田委員	地域協働課 (防災防犯)	3ページ・8 地域防災力の向上にかかる「公助」の充実	済生会泉尾病院、大正病院との連動訓練が必要かと思う。大正区総合防災訓練の実施に医療機関が入っていない。	<p>大正区総合防災訓練では、情報伝達訓練として、区内の医療機関(令和4年度はほくとクリニック病院)とのMCA無線機による通信訓練を実施しております。</p> <p>令和5年度は、医薬品等ローリングストックにかかる提携医療機関(済生会泉尾病院を予定)や、大正病院などの区内の医療機関と連携した通信訓練を引き続き実施したいと考えております。</p>
3-3	石田委員	保健福祉課 (福祉)	4ページ・13 日ごろの見守り活動の体制構築	ネットワークはDX化するべき。	<p>システム等を用いた要援護者名簿の共有化については、個人情報保護の観点もあり難しい部分もありますが、地域が見守り活動を行う中で、情報の更新がスムーズに行われる必要があると考えております。その手法については、今後、所管局(福祉局)等と連携し検討してまいります。</p>
3-4	石田委員	保健福祉課 (介護保険)	5ページ・17 認知症施策の推進	認知症サポーター養成講座は、依頼を待つのではなく企業等に出向いて受けていただいた方がいい。	<p>小学校や地域等に出向いて、認知症サポーター(認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者)の活動について説明し、認知症サポーター養成講座の開催について働きかけも行っています。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

書類番号4

4. その他意見、ご質問について				
番号	委員	担当課	外部評価(区政会議委員)意見	回答
4-1	姉川委員	地域協働課 (地域協働)	トンボロマルシェは2023年4月以降も開催されますか？	引き続き社会実験を実施する予定です。時期、内容については調整中です。

主な地域団体とその活動内容

★地域まちづくり実行委員会

おおむね小学校区を単位として、町会をはじめ、地域社協、女性会、民生委員、PTAなどの地域団体やNPO、企業など地域のまちづくりに関するいろいろな団体が集まり、話し合い、協力しながら、さまざまな分野における地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組みです。(別紙参照)

★地域振興会

町会・自治会と呼ばれている地縁による任意団体です。

大阪市地域振興会は昭和50年6月にコミュニティづくりを大きな目的に掲げて発足し、地域のお祭りや運動会などのコミュニティ活動をはじめ、震災訓練、安全・安心なまちづくり、環境美化活動など、地域活動の基礎的な組織として重要な役割を果たしています。

連合町会は小学校区単位の町会から構成されており、連合町会の集合体が大正区地域振興会です。

★社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域住民、保健・医療・福祉などの関係機関やさまざまな組織団体などで構成する民間の福祉団体で、法律に位置づけられ、福祉のまちづくりを進めることを目的としています。

主な活動としては、地域福祉活動やボランティア活動の推進など、さまざまな事業を展開しながら、地域住民の福祉活動への参加を促進し、地域福祉の充実を図っています。

★女性団体協議会

地域に根ざし、地道に女性会活動をテーマに「住みよい、住んでみたい町」をめざして、学習活動をはじめ、地域活動に積極的に取り組んでいます。

★民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、地域の住民生活を必要に応じ適切に把握し、生活に困った人や児童の保護・育成などの福祉について相談を受け、自立を助けるために必要な相談・支援を行う地域福祉推進の担い手です。

各会合の開催日につきましては、地域へお問い合わせ願います。

地域まちづくり実行委員会(地域活動協議会)とは

